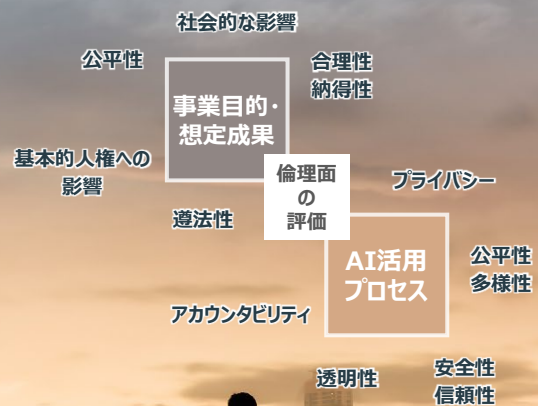


AIの適切な利活用を促進するために  
事業内容とAI活用プロセス両方の  
倫理面を評価します。

## AI倫理コンサルティング

急激な気候変動、未知なるウイルスの世界的な蔓延<sup>まん</sup>など、人類は今、地球規模の課題に直面しています。日本においても少子高齢化、過疎化、デフレの進行といった課題を抱えていますが、これらの克服に大きな期待が寄せられているのが、IoTやAIを活用した新たな社会「Society 5.0」の実現です。特にAIの活用が目目されていますが、一方で倫理面に対する不安も広がっています。これは、機械学習やディープラーニング等のAIにおける透明性、信頼性、公平性、安全性等、複数の要素に起因しています。

日立コンサルティングでは、これまでプライバシー保護に関するコンサルティング実績で培った知見とノウハウを生かし、事業内容とAI活用プロセス両方の倫理面を評価することで、真に豊かな社会の実現に貢献するAIの導入、活用を支援します。



### CASE 01 事業における倫理面のリスク

遺伝子検査の結果に基づいて保険会社が医療保険のリスクを判断し、加入の謝絶や料金の変動を行うことは差別にあたると思われる。米国等では禁止されており、事業自体を行うことはできない。

この事例のように、AIを活用するか否かの前に、事業の内容自体が倫理に反している場合があります。このようなことを発生させないために、まずは事業そのものの倫理面を評価する必要があります。

### CASE 02 AI活用プロセスにおける倫理面のリスク

RPAに代表されるように、AIを活用して業務の効率化を図る取り組みがいたるところで進んでいるが、AIの精度を考慮した運用をしないと、間違った判断を補償する等、かえってコストや非効率を生む危険性がある。

この事例が生じないように、AIの精度、正確性等を適切に評価して、人による判断プロセスを随時挿入することが不可欠です。業務の性質によっては正解の定義ができない場合もあり、AIのみの処理には向いていないものも存在します。

## ◆ こんなお客さまにお勧めします

- 従来とは異なる切り口でパーソナルデータのビジネス活用を考えている。
- AIを活用して新たなビジネスを検討しており、機微なデータの活用が想定される。
- 一般消費者向けサービスでAIの活用を考えているが、不安がある。
- 公共の政策や公的なサービスにおいてAIを活用したい。

## ◆ アプローチ

本サービスは、以下 2 つのステップで構成されており、アドバイザリーボードを設置し、外部有識者からの助言を得て客観性を担保しながら評価、コンサルティングをします。

### STEP1 事業そのものの倫理面の評価

事業目的や 想定成果の 倫理面の評価	アドバイザリーボード	<b>事業の目的と、事業の結果として起こりうる事象や成果について、以下に示すような観点から問題がないかどうかを検討します。</b>				
		<ul style="list-style-type: none"><li>● <b>合理性、納得性</b> 事業の目的が一般的な人々の感覚から鑑み、合理的で納得感があるか、不快感を創出しないかを検討</li><li>● <b>社会的な影響</b> 人の生命や地球環境に悪影響を与える可能性や、社会的にどのような影響（良い影響／悪い影響）を与える可能性の有無を検討</li><li>● <b>公平性</b> 人を不当に差別したり、公平性を損なったりする危険性や、社会的弱者を排除する可能性の有無を検討</li><li>● <b>基本的人権への影響</b> 人間の基本的な人権を侵害するような事業ではないかを検討</li><li>● <b>遵法性</b> 法律に違反してはなくても、不明確な部分やグレーゾーンもあるため、どのようなステータスかを見極める</li></ul>				
類似事例の 考察	アドバイザリーボード	<b>当社がこれまで提供してきたプライバシーのコンサルティングなどを通して蓄積してきた、膨大な数の問題化した事例を参考に、事業の妥当性を検討します。</b>				
		<table border="1"><tr><td rowspan="2">事例</td><td><b>人財</b> 人財採用の仲介事業者が、応募者の行動などから内定辞退率を予測し、採用する企業へ販売していた。</td><td><b>交通</b> カーナビから集めた情報を匿名化して警察に提供。警察がこれを分析し、スピード違反の検挙等に用いた。</td></tr><tr><td><b>情報</b> 悪意のある利用者に学習させられた一般公開されているチャットボットが差別的な発言を行い、停止した。</td><td><b>公共</b> スマートフォンによる報告に基づき道路補修の仕組みを導入した結果、高所得者の居住地域の道路に補修箇所が偏った。</td></tr></table>	事例	<b>人財</b> 人財採用の仲介事業者が、応募者の行動などから内定辞退率を予測し、採用する企業へ販売していた。	<b>交通</b> カーナビから集めた情報を匿名化して警察に提供。警察がこれを分析し、スピード違反の検挙等に用いた。	<b>情報</b> 悪意のある利用者に学習させられた一般公開されているチャットボットが差別的な発言を行い、停止した。
事例	<b>人財</b> 人財採用の仲介事業者が、応募者の行動などから内定辞退率を予測し、採用する企業へ販売していた。	<b>交通</b> カーナビから集めた情報を匿名化して警察に提供。警察がこれを分析し、スピード違反の検挙等に用いた。				
	<b>情報</b> 悪意のある利用者に学習させられた一般公開されているチャットボットが差別的な発言を行い、停止した。	<b>公共</b> スマートフォンによる報告に基づき道路補修の仕組みを導入した結果、高所得者の居住地域の道路に補修箇所が偏った。				

### STEP2 AI活用プロセスの評価、コンサルティング

AI活用 プロセスの 整理	アドバイザリーボード	<b>AIが活用される分析フェーズだけでなく、データの収集から分析結果の利用まで、ライフサイクルで評価する必要があるため、AI活用に関わるプロセスを明らかにします。また、プロセスを確立するため、PoC等を通じて、学習モデルやアルゴリズムを開発することを想定しています。テストと実ビジネスのフェーズの違いも考慮し、整理を行います。</b>			
		<b>データ収集</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● どのようなデータがインプットされているか</li><li>● データがどのように収集されているか</li><li>● …</li></ul>	<b>蓄積・管理</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● どのようにデータが蓄積されているか</li><li>● データがどのように管理されているか</li><li>● …</li></ul>	<b>分析</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● どのような技術でデータが分析されているか</li><li>● どのような分析結果が創出されるか</li><li>● …</li></ul>	<b>利用</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● 分析結果がどのように利用されているか</li><li>● 利用者とのようなインタラクションが生じるか</li><li>● …</li></ul>
AI活用 プロセスの 倫理面の評価	アドバイザリーボード	<b>上記の活用プロセスに対して、以下の観点からチェックし、問題ないか評価、検討します。</b>			
		<input checked="" type="checkbox"/> プライバシー	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性・多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 安全性・信頼性	<input checked="" type="checkbox"/> 透明性
評価結果に 基づく 対応策の 立案	アドバイザリーボード	<b>評価したAI活用プロセスの問題点を整理し、「人」「情報」「マネジメント」「技術」の切り口で対応策を提案します。</b>			
		<b>人</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● AI活用プロセスに人を介在させて責任の所在を明らかにする</li><li>● 人を補完する形での利用の仕方を検討する</li><li>● …</li></ul>	<b>情報</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● インプットデータを適切に収集し、信頼性を担保する</li><li>● AI活用プロセスに関する情報を利用者等に開示する</li><li>● …</li></ul>	<b>マネジメント</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● AI活用プロセスをチェックするマネジメントの仕組みを整備する</li><li>● 利用結果がフィードバックされる仕組みを整備する</li><li>● …</li></ul>	<b>技術</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● ブラックボックス化しない技術（XAI等）を活用する</li><li>● 安全性や信頼性を評価するためのデータ取得技術を用いる</li><li>● …</li></ul>

●サービスの仕様は、改良のため変更することがあります。ご不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。 ●詳細な見積条件などはwebサイトから、または弊社担当営業へお問い合わせください。

## ◎ 株式会社 日立コンサルティング

〒102-0083 東京都千代田区麹町2-4-1 麹町大通りビル11F 電話番号(代表) : 03-6779-5500  
<http://www.hitachiconsulting.co.jp/>